

比治山公園「平和の丘」の取組について（お知らせ）2024年（令和6年）5月

日頃から本市行政に御理解、御協力いただきありがとうございます。

広島市では、平成29年3月に策定した「比治山公園『平和の丘』基本計画」に基づき、比治山公園の再整備に取り組んでいます。令和6年度は、昨年度に開催した「比治山公園の回遊性向上のためのワークショップ」の検討結果等も踏まえながら、引き続き、第Ⅱ期の整備を進めていきますので、令和6年度の予定について、お知らせします。

また、比治山公園の再整備の取組について、お聞きになりたいことがありましたら、下記の問合せ先に御連絡ください。

問合せ先：広島市企画総務局政策企画部政策企画課平和の丘担当

電 話 082(504)2945

Eメール seisakukikaku@city.hiroshima.lg.jp

1 「平和へのメッセージ」を記す碑の設置

原爆の惨禍から復興した市街地の街並みを眺めながら、平和への思いを共有しつつ、戦争や平和について考えることができるよう、昨年度のピースメッセージ広場に続き、他の展望箇所に、広島を訪れた世界の為政者や著名人が残した「平和へのメッセージ」を読むことができる碑を10基設置します。



ピースメッセージ広場に設置した
「平和へのメッセージ」を記す碑（令和5年度）

2 デザイン性の高い案内サインへの改修

比治山公園内に設置されている園内案内板や誘導表示等の案内サインは、作成年度によりデザインが異なり、更には老朽化しているものがあったため、令和4年度から、統一感のある案内サインへの改修を行っています。

令和6年度は、雲 霞 橋 下^{うんげいきょう}の三差路の総合案内サインや比治山トンネル西側の公園入口への誘導サインの設置などを行います。



スカイウォーク乗降口の広場に設置した
総合案内サイン（令和4年度）

3 園内動線の整備（新規）

公園内を安全で快適に回遊できるよう、公園利用実態調査を行った上で、公園全体の自動車と歩行者の動線分離などを検討し、段階的に園路改修等に取り組めます。令和6年度は、このうち、エントランス広場付近から遊具広場付近までの園路改修の実施設計を行います。

また、ムーアの広場は、主要な展望箇所の一つですが、広場には階段でしかアクセスできないため、車いすやベビーカー利用者等も広場を利用することができるよう、スロープ整備のための基本設計を行います。



自動車と歩行者の動線の分離
のイメージ

4 既存施設及び未利用地の利活用（新規）

既存施設等の魅力向上のため、御便殿広場やムーアの広場等の再整備や園路沿いにある未利用地を活用した整備の基本設計を行います。



水遊びができる場の整備イメージ
（御便殿広場）



テーブルやイスの設置イメージ
（ムーアの広場）



休憩施設の整備イメージ
（未利用地）

5 老朽化している桜の樹勢回復等

比治山公園は、古くから桜の名所として多くの人に親しまれていますが、桜の中には、老朽化が著しく、朽ちて枯れそうになっているものもあるため、昨年度から範囲を区切って、桜の樹勢診断を行った上で、枯れ枝の除去や土壌改良、支柱の設置など、健全な育成と老朽化による事故防止のための対策を講じる取組を行っています。令和6年度は、ムーアの広場を中心に実施します。

また、比治山公園は、シイやカシなどの常緑広葉樹が大部分を占め、十分な光が地面に届きにくいいため、園路によっては薄暗くなっています。こうしたことから、引き続き、園路沿いを中心に、防犯対策も含め気持ち良く散策できる明るい樹林環境に転換するとともに、主要な展望箇所からの眺望を確保するための剪定等を行います。



園路沿いの樹林の剪定等（令和5年度）

（裏面へ続く）

6 にぎわいづくりの推進

比治山公園の集客を図るため、平成30年度から、より多くの人に比治山公園を活用してもらえるような様々なテーマのイベント（7回程度/年）を開催しており、焚き火イベントの「あっ“たまる”比治山」や柴刈りイベントの「ととのえる比治山」など、多くの方々にご参加いただいています。令和6年度も、年間を通じてバランス良くイベントを開催するとともに、にぎわいづくりの担い手の掘り起こしやネットワークづくりを行います。

また、自然との触れ合いの中で、遊具作りや水遊び、泥遊び、木登りなど、子どもの自由な発想で楽しむことのできる常設型プレイパークの整備に向けて、地域の協力を得ながら、担い手の掘り起こしや実施体制づくりを進め、秋頃に3回程度、試行的に実施します。



あっ“たまる”比治山
(焚き火イベント)



ととのえる比治山
(柴刈りイベント)

7 放射線影響研究所の移転を見据えた取組

令和5年1月に放影研の広島大学霞キャンパスへの移転が決定し、放影研は、令和7年度に新施設の完成を目指しているとされています。放影研移転後の敷地を活用した整備は、基本計画の総仕上げと位置付けて、平和であることを実感しつつ芸術文化に親しむことができる「平和・芸術文化ゾーン」として、多目的エリアなどを整備する計画としていますが、当該敷地は国有地であることから、本市が公園として使用することについて、引き続き、国と協議を行っていきます。

また、具体的な整備内容については、民間事業者や市民等の多様な方々の意見を聴き、議論しながら検討を進めていきたいと考えています。

(参考) 比治山公園の回遊性向上のためのワークショップの開催結果

公園を回遊する魅力を更に高め、訪れる人を増やすため、昨年度に市民等との協働によるワークショップを計4回開催し、公園内の既存施設や園路沿いの未利用地の利活用、公園内及び公園内外の回遊性を高める取組などの検討を行いました。現在、市において、このワークショップの検討結果等を踏まえ、取りまとめを行っているところであり、今後、広島市ホームページ等で公表する予定です。



【開催結果】 <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/hijiyamakoen-heiwanooka/377279.html>

※ 「「比治山公園の回遊性向上のためのワークショップ」の取りまとめ」（令和6年3月）の一部抜粋

回遊性向上策

公園を回遊する魅力を更に高め、訪れる人を増やすため、以下の回遊性向上策に取り組む。

公園内に人が集まる・とどまる拠点をつくる（既存施設及び未利用地②を利活用する）

- 既存施設（御便殿広場、ムーアの広場、富士見台展望台）の特性（周辺施設の立地状況や施設の整備状況、利用状況等）を踏まえながら、魅力を高める。
- 御便殿広場及びムーアの広場は、比治山公園の中核的な文化施設であるまんが図書館及び現代美術館との一体的な空間づくりや居心地の良い空間づくりを考慮しながら、魅力を高める。
- 未利用地のうち約1,400㎡の広さがある未利用地②については、広場の特性を踏まえながら、自由な遊びができる広場（プレイパーク）として利活用する。

公園内の拠点をつなぐ（公園内を回遊しやすくする。未利用地①及び⑥を利活用する）

- 園路の歩車分離や横断歩道の設置などにより、安心して移動できるようにする。
- 案内サインやサイクルポート等の設置、休憩スポット（主要園路に面している未利用地①及び遊具広場に近い未利用地⑥）の整備などにより、快適に移動できるようにする。
- 回遊コースの設定やイベント等の開催などにより、目的を持って移動できるようにする。

公園の内外をつなぐ（公園の内外を回遊しやすくする）

- 平和大通り等との行き来をしやすくするための案内サインやサイクルポートの設置などにより、公園の内外をスムーズに行き来できるようにする。
- 平和の道やピースツーリズムのおすすめルート等を紹介するパンフレットの作成や、イベント等の開催などにより、公園の内外を一体的に回遊できるようにする。

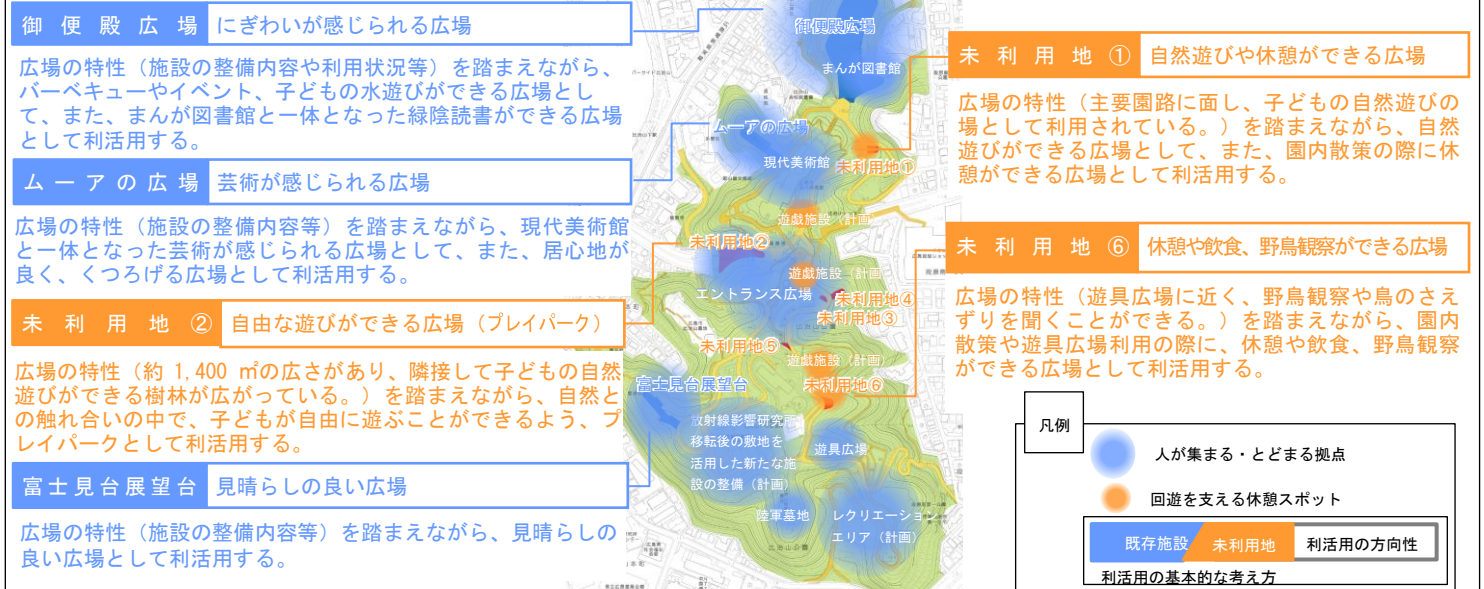
公園に関わる人を増やす

- 公園の利活用例や必要な手続等を分かりやすく紹介しながら、イベント等のにぎわいづくりやよりきめ細かな維持管理活動に関わる担い手を発掘し、育成する。
- 多様な担い手のネットワークの組織化（公園の管理運営を主体的に行う組織の立ち上げ）を目指し、多様な担い手が定期的に意見交換・情報交換できる場を設けるなど、担い手のネットワークづくりを行う。

公園の魅力を知ってもらう

- 公園を訪れるきっかけづくりとして、WebやSNS等も活用し、公園の魅力やイベント情報等の発信を強化する。
- 公園を訪れるリピーターを増やすとともに、公園に関心を持つ新たなファンを取り込めるようなイベント等を開催する。

ー既存施設及び未利用地の利活用の方向性及び基本的な考え方ー



※未利用地③及び⑤はエントランス広場の一部として整備し、未利用地④は将来のリザーブ用地として現状のまま維持する。

※図中の白文字の施設は、今回の検討対象外としている。